

BA-600
SX-8000II
SX-5000II
RY-5500II
AX-10G

取扱説明書

MICRO

はじめに

この度はマイクロのターンテーブルをご購入頂きまして誠にありがとうございます。お買いあげ頂きましたターンテーブルは、つねに高次元の音質を求めてやまない音楽、オーディオファンの熱い期待に充分お応えするため、マイクロが先進テクノロジーを総集し、入念に削りあげた、現在考えうるアナログ・ターンテーブルの最高録をゆくモデルです。

マイクロのエアベアリング方式は既に数々の先行モデルでその確たる技術成果の裏づけが得られていますが、このSX-8000II、SX-5000IIは、さらにセンシティブでハイグレードな再生を狙う方々のために、バキュームによるディスク吸着システムを導入、より「パーフェクトなアナログ・ターンテーブル」を目標とし開発されたシリーズといえます。

マイクロ・ターンテーブルの設計理念というべき、ハイ・イナーシャ・モーメント(外側慣性重量の増強)の思想は、音溝を針先がトラッキングする際の動的な負荷応答特性に着目し、極小時間内の速度変化(通常のワウ・フラッターよりさらに微小な音ゆれ)の徹底追放を目指したものの。

そのためマイクロでは、常識では及びもつかない重量28kg慣性モーメント3.5トン/cmというハイ・イナーシャ・ターンテーブルを創り出し、その強大な回転エネルギーにより、ターンテーブルの速度変動を(無)に近づけたのです。さらにターンテーブル内部に充填された空気が流体として均質な力でターンテーブルを浮上させる結果、この“柔かな剛体”が上部と下部を絶縁遮断することにより、動的なワウ・フラッターを抑え、有害な微振動もシャットアウトすることができたのです。

加えて、マイクロ・ベアリング方式本来のスラスト方向への機械的接触がなくなり、例えるなら絹の肌ざわりのように自然で円滑な回転を実現したものです。

マイクロが提唱するトータル・エア・コントロールのコンセプトは、「考える高次元再生音」を究極目標としたものであり、ここに全社のエネルギーとノウハウが傾注されています。

マイクロの一切の妥協を拒否する製品開発のプリンシプルに今後共一層のご注目を賜わりたくお願い致します。

どうかこの取扱説明書ご熟読いただき、製品が保持する性能を存分に発揮させ、末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

目次

A 各製品の確認

B ターンテーブルの組立て

C アームマウントAX-10Gの組立て

D エア配管及電気接続

E オーディオベースの組立て

F 調整及操作方法

G 実際にレコードを聴いてみましょう。

H 78回転レコードを聴くには。

I 規格

J アクセサリー

註) 1 オーディオベースBA-600を同時にお求めの方は、先行してオーディオベースBA-600の組立てを行って下さい。

A 各製品の確認

各梱包の中にはそれぞれ下記の付属品が入っていますので組み立ての前に欠品が無いかを確認して下さい。

● フレーム

① フレーム	1
② キャリングハンドル	2
③ センタープレート	1
④ 45回転アダプター	1
⑤ アース線	1
⑥ 6角レンチ 2M	1
⑦ " 4M	1
⑧ ポリシングクロス	1
⑨ ストロスコープ	1
取扱説明書	1
⑩ オーディオシート AS-IV	1

● ターンテーブル

⑪ 上ターンテーブル	1
⑫ 下ターンテーブル	1

● モーターユニット RY-5500II

⑬ モーターユニット本体	1
⑭ ブーリーカバー	1
⑮ 電源ボックス	1
⑯ ベルト(SF-1)	1
⑰ ポリシングクロス	1
⑱ 6角レンチ 4M	1

● アームマウント AX-10G

⑲ AX-10G	1
⑳ マウントベース	1
㉑ 固定カラー	2
㉒ 固定ネジ	2
㉓ 6角レンチ 2.5M	1
㉔ 6角レンチ 4M	1
㉕ 6角レンチ 5M	1
㉖ 6角穴付ボルト M5×15(mm)	4
但しSMEの場合はM5×25(mm)	4
㉗ 6角穴付ボルト M6×55(mm)	2

● エアーポンプ RP-1110

㉘ ポンプ RP-1110	1
㉙ エアーチューブ 1m	1

● オーディオベース BA-600

㉚ オーディオベース本体	1
㉛ ガラス	1
㉜ フロントパネル	1
㉝ 6角レンチ 4M	1
㉞ ポンプ LPA-50	1
㉟ ポリシングクロス	1

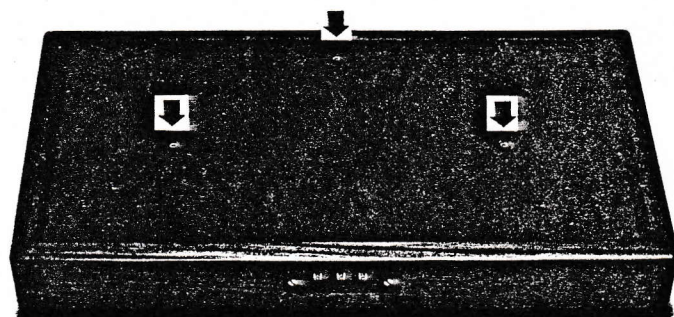
㊦オーディオベースBA-600の組立て

再生音を変調させ混濁させる要因として、スピーカーの音が、床や壁から伝達されターンテーブルにフィードバックされる、いわゆる“ハウリング”による影響が、最も大きいことはよく知られています。

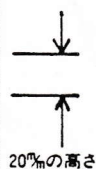
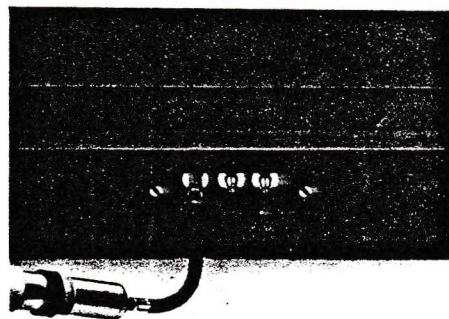
新たに開発されたオーディオベースBA-600はこの問題に対処するマイクロの明確な解答といえます。

エアを3箇所の空気室に充填し、空気の粘性とバネ作用を利用するというマイクロ独自の防振ベースは、結果として最良のダンピング効果が得られています。モーターユニットも一緒に設置するため、総体的にバネ上のイナーシャが大きくなり、瞬間的な衝撃に対してもターンテーブルはヒタリと静止し、きわめて安定した動作を続行することができます。「クリーンな再生音」の担い手オーディオベースの開発により、トータルでの音質をさらに大幅に改善させることが可能となりました。

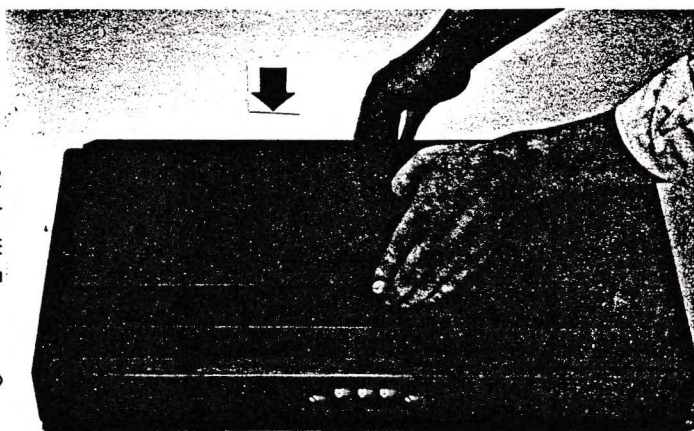
- 1) オーディオベース本体の上面にある輸送時の固定ビス(赤印)3ヶ所を付属の六角レンチではずして下さい。
- 2) 木わくの前面プレートをとりはずします(指で簡単にはずれます。)3つの空気を出し入れするバルブがついています。このバルブのキャップを左へ回してとはずして下さい。
- 3) 付属のポンプで3ヶ所のバルブに交互に空気を入れ、ベースの高さが木わくの上面より20%ほど高くなるまで入れて下さい。(自転車のタイヤに空気を入れる要領です。)
- 4) 付属のフローティングガラスを四隅のガイドピンにかからないようにしてベース上に静かに置いて下さい。
- 5) オーディオベースのガラス面に、モーターユニット、ターンテーブル、フレーム、アームマウントをそれぞれセットします。セットの方法はターンテーブル、モーターユニットの項を参照して下さい。
- 6) セットが完了しましたらガラス面が木わく上面と水平になるように、空気の量を出し入れして調整して下さい。又確実に水平を出す場合には付属の水準器をターンテーブル内周のパキュームゴムの内側にのせて調整を行って下さい。(バルブの中央のピンを付属の細いレンチの先で軽く押しますと空気は排出されます。)
- 7) 以上完了しましたら空気バルブのキャップを元どおりはめ込み、付属の前面プレートをとりつけて下さい。



ポンプで交互に空気を注入し、木わく面より20%まで上げる。



正面より見て左前後 右後 右前

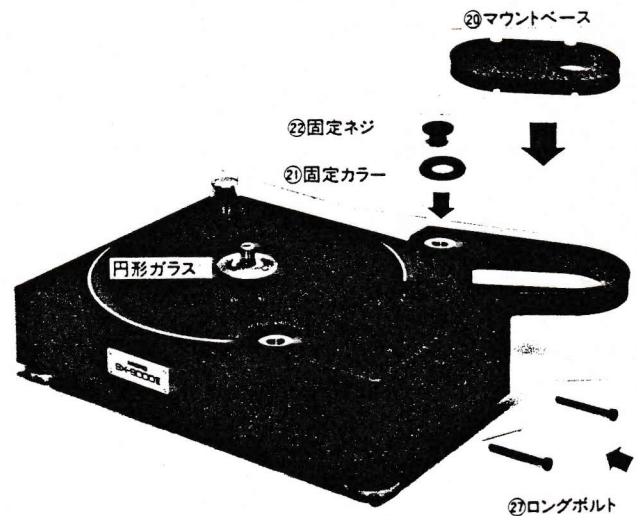
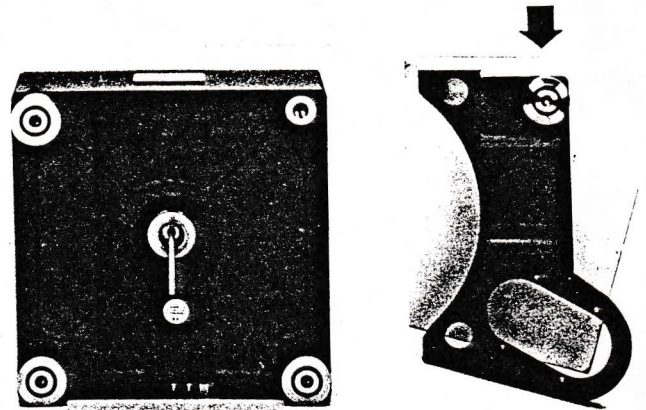


ガラスをベース上に静かに置く。

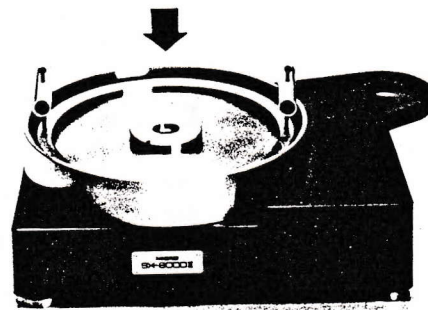
C アームマウント AX-10Gの組立て

- 1) ①フレームの右手前底部の足を手で回してゆるめ、はずして下さい。
- 2) はずした足を⑨アームマウントAX-10G 右手前底部にとり付けて下さい。
- 3) ⑨アームマウントAX-10Gを①フレームに右上からメッキのピンに穴をかぶせるようにして装着して下さい。
- 4) ⑨アームマウントの右側面の穴より付属の⑭ロングボルトを入れて付属のレンチで仮締めして下さい。
- 5) ⑮固定カラーと⑯固定ネジを足の上部にとりつけて下さい。
- 6) 4、5で仮締めした箇所を付属のレンチでしっかりと締めて下さい。
- 7) ⑰マウントベースに所定のアームをとリつけ⑱ボルトで⑲AX-10Gにしっかりととりつけて下さい。

①フレームからはずした足の一つを⑨アームマウントの底部に取り付けます。

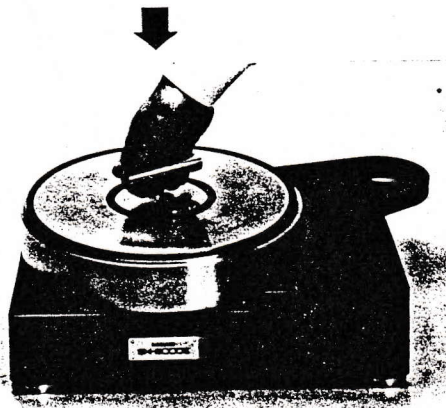


⑰下ターンテーブル2箇所⑱キャリングハンドルをネジ込みセンターに合わせておろす。



D ターンテーブルの組立て

- 1) ①フレームをセッティングする位置として適切にしっかりとした場所において下さい。
- 2) ①フレーム上部の円形ガラス面を⑧ポリッシングクロスできれいにからぶきして下さい。
- 3) ②キャリングハンドルを⑬下ターンテーブルの2ヶ所にネジ込んで、両手でしっかりと持ち、できるだけ水平にして①フレームのセンターに合わせて静かにおろして下さい。
- 4) ④上ターンテーブルも同様にして、できるだけ水平にしてその上にセットして下さい。



E エア配管及電気接続

1) セットしたターンテーブルの左に約5%の間隔を離して⑬モーターユニットを設置して下さい。

2) ⑭電源ボックスより出てくる6P DINコネクターコードをモーターユニットの6Pコネクターに接続して下さい。コネクターのプラスチックリングを右へ回してロックして下さい。

3) ⑮エアポンプRP-1110の底部中ほどにある輸送用の固定ビスをゆるめてとり去って下さい。

4) ⑯エアポンプの電源プラグを⑰電源ボックスの出力コンセントに接続し、エアポンプの電源スイッチをONして下さい。

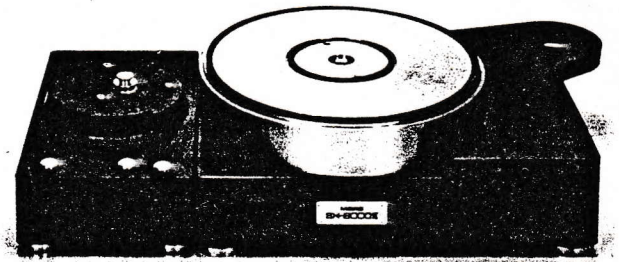
5) ⑰エアポンプより出てくる3本のエアチューブの内2本(B・C)を⑬モーターユニットのリアパネルのエアバルブ(B・C)に接続して下さい。残りの1本(A)をターンテーブル左側のフロントバルブに接続して下さい。

6) ⑱エアポンプに付属している⑲長さ1mのエアチューブをターンテーブル右側のバキュームバルブとモーターユニットの(V)のバルブ間に接続して下さい。

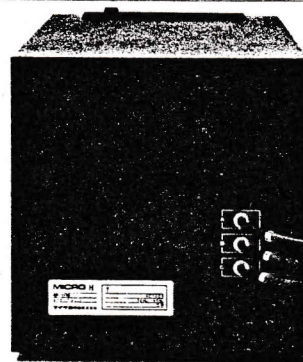
7) 次にキャリングハンドルを1つを使ってターンテーブルのセンターシャフトに3~4回転ねじ込み、少し強めに上に引っばって下さい。(嵌合をしっかりとさせるための動作です。)

8) キャリングハンドルをはずして、⑳センタープレートを手で同じ場所にネジ込み、付属のレンチを使ってしっかりとめて下さい。

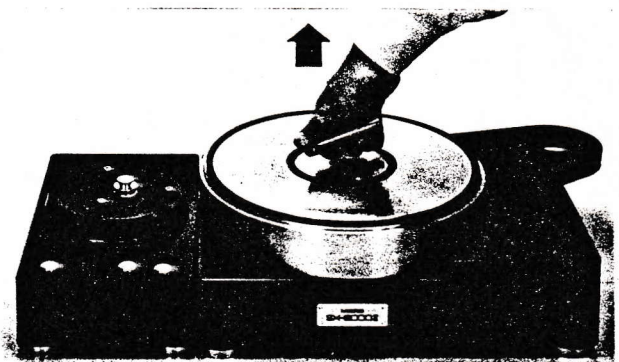
註) エアポンプユニットはできる限り、ほこりのたたない場所を選んで設置して下さい。塵やほこりに対しては、4重のフィルター構造で対処していますが、目づまりは、送気能力の低下の原因となります。またジュウタンの上のジカ置きはできるだけ避け、板などの上に乗せて設置して下さい。また防振、防音対策が施されているエアポンプですが、わずかな振動音が気になるようでしたら、リスニングポイント付近とターンテーブル周辺から離して作動させて下さい。エアチューブの配管はくびれないようにし、通路や扉など踏まれ易く挟まれ易い所は避けて下さい。



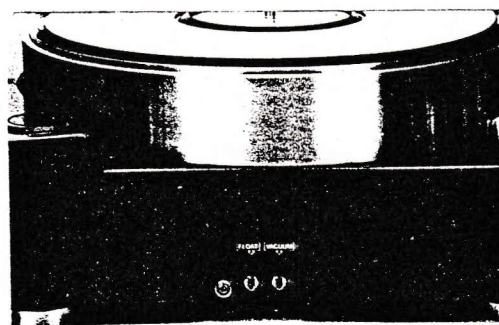
約5%の間隔をあけ並行におく。



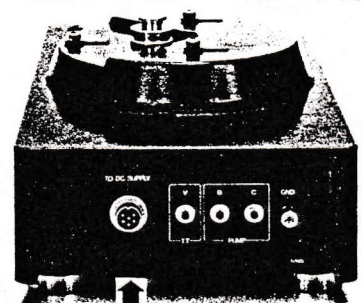
ポンプよりのエアチューブ(A)
ポンプよりのエアチューブ(B)
ポンプよりのエアチューブ(C)
電源ボックスの出力コンセントへ



センターシャフトにキャリングハンドル1つをねじ込み、強めに上に引く



アースへ
ポンプよりのエアチューブ(A) 付属の1mエアチューブ



電源ボックスからの6pDINコネクター
付属の1mエアチューブ
ポンプよりのエアチューブ(B) ポンプよりのエアチューブ(C)

F) モーターユニットの組立て

操作方法及び調整

1) ④モーターユニット上面にある3ヶ所のモーター固定ボルトを付属の六角レンチでゆるめて、モーターの位置をターンテーブルの方向へ右に動かして下さい。

2) ③電源ボックスの電源コードをAC100Vに接続して下さい。

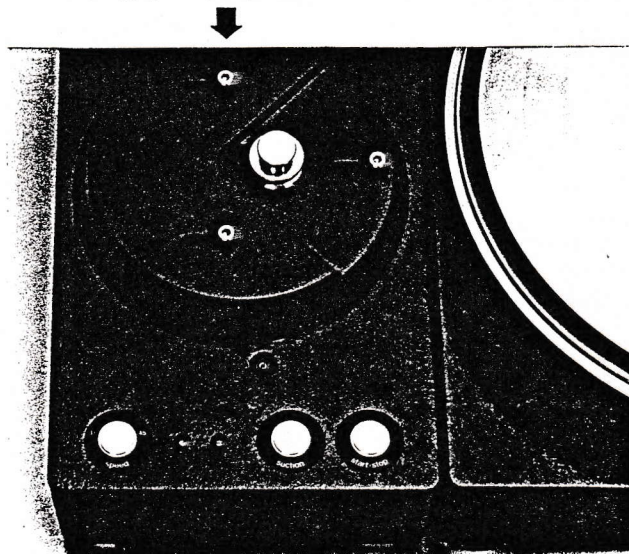
3) ③モーターユニットの前面のパワースイッチをONして下さい。33・45切り換えスイッチのLEDが点灯します。(エアーポンプの電源も同時にONになります) 10秒位でターンテーブルがエアーの力により浮上しますので、軽くターンテーブルを指で押して、動くかどうか確認して下さい。(浮かない場合はエアーの配管、電源接続を再度チェックして下さい。)

4) ⑥S F-1ベルトをターンテーブル外周とプーリーの上段にかけます。
 註) ベルトテンションの掛けすぎは、音質に影響し、モーターの過負荷の原因ともなりますので、ベルトの張りすぎにご注意下さい。

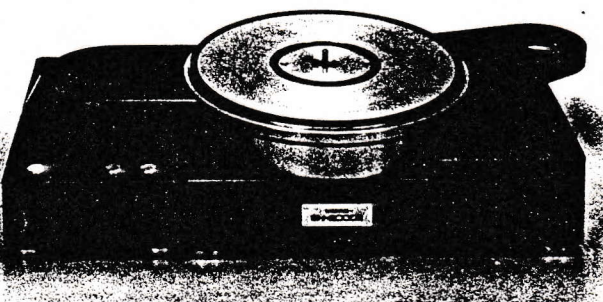
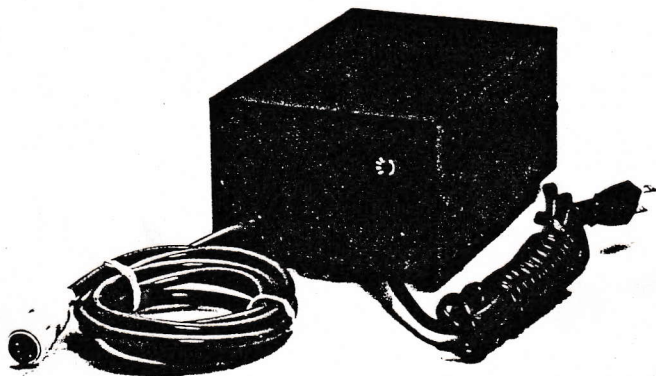
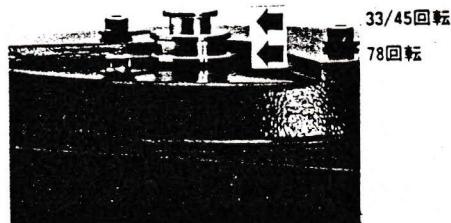
5) ベルトのテンションを調整します。付属の⑨ストロボスコープをターンテーブル上にのせ、ストロボの上からスポットやスタンドなど電灯の光をあてて、START/STOPスイッチをONして下さい。ストロボスコープのしま紋様を確認し、STARTスイッチONから33回転に到達する時間を時計の秒針で測って下さい。約8~12秒ほどの範囲に入るよう先ほどの3箇所のモーター固定ボルトを左右へ少しずつずらして調整して下さい。(調整終了後はしめつけて下さい。) 33/45回転の速度調整は微調トリマーをゆっくり回してストロボスコープの所定の速度のしま紋様が微動しないところでトリマーの位置を止めて下さい。(トリマーは左側が33回転用、右側が45回転用です)

註) ターンテーブルの回転中は、エアーポンプの電源をOFFにしたりエアーチューブを抜かないようにして下さい。電源を切る際は、ターンテーブルが停止してから行なって下さい。停電や瞬時の事故などのパニック・ストップには充分対処できる設計となっていますが、頻繁にその動作を繰り返しますとエアーギャップ部分の故障の原因となりますのでご注意下さい。

モーター固定ボルトを左右に動かし、ベルトのテンション調整を行う。



↑ ↑
トリマー33回転/45回転用



Ⓔ以上で組み立てと調整が済みましたので実際にレコードを聴くことにしましょう。

1) パワースイッチをONして下さい。

(スイッチを入れて約10秒間は内蔵されたCR発振器アンプの安定の為)
START/STOPスイッチは動作しないようになってます。

2) ターンテーブルにレコードをのせます。

3) SUCTIONスイッチをONにします。

(ディスク吸着を解除する場合は、SUCTIONスイッチをもう一度
押すとOFFになり逆噴射エアによりディスクは取りはずせます。)

4) START/STOPスイッチONにします。

約10秒で(33回転の場合)定速になります。

約15秒でモーター駆動電圧が100V→50Vに変化します。

5) レコード面に針を静かにおろして下さい。

註) 4でレコード面をクリーナーで強く清掃した場合に、多少速度が落ちることがあります。その場合にはSTART/STOPスイッチを一度OFFにして、すぐONにすると復帰します。

註) 付属の①オーディオシートは、両面テープをはがしてターンテーブルの上に敷いてお使い下さい。(オーディオシートのある、なして音質が多少変わりますので、お好みの音質の方をお選び下さい。)

Ⓕ78回転SPレコードを聴くには。

1) モーター固定ボルトを3ヶ所、付属のレンチでゆるめてプーリーを下の段の方にかけて、ベルトのテンションを調整しながらモーターの位置を固定して下さい。速度切換スイッチを45にしてSTART/STOPスイッチをONしますとターンテーブルは78回転になります。

Ⓖ規格

	SX-8000 II	SX-5000 II
形 式	エアベアリング方式 レコード吸着装置付	エアベアリング方式 レコード吸着装置付
ターンテーブル	ステンレス製28kg	砲金製18kg
慣性モーメント	3500kg ^{cm}	2700kg ^{cm}
フ レ ーム	亜鉛製35kg	亜鉛製35kg
総 重 量	63kg	53kg
外 形 寸 法	312(W)×312(D)×156(H)mm	312(W)×312(D)×156(H)mm

Ⓖ別売アクセサリ

R-600 金属製脚

モーターユニット用4ヶ ターンテーブルフレーム用4ヶ1組

1) SX-8000 II、RY-5500 II、SX-5000 II、RY-5500 IIの組合せでオーディオベースBA-600をお使いになる場合の専用の脚。

RY-5500 II

- 使用モーター……………8極ヒステリシス・シンクロナスモーター
- モーター駆動方式……CR発振器、BTLアンプ駆動
- 回転数……………33 $\frac{1}{3}$ ・45r.p.m.切替(微調整可能)±4%
78r.p.m.(プーリー切替)
- モーター駆動電圧……起動時100V
15秒後50V自動切替
- 電源……………AC100V
- 消費電力……………27ワット(起動時)
10ワット(定常時)
- 付属……………定電圧電源ユニット
- 外形……………180(W)×312(D)×136(H)mm
- 重量……………14kg

アームマウント AX-10G(SX-8000 II・5000 II専用)

- 対応アーム……………ショート、ロング両用
- 固定方法……………4点締付
- 重量……………5kg

オーディオベース BA-600

- 形式……………フローティングタイプ、エアインシュレーター
- 固有振動数……………4.5Hz
- 搭載面寸法……………600×300mm
- 荷動適応範囲……………30kg～130kg
- 外形寸法……………600(W)×400(D)×82(H)mm
- 付属品……………エアポンプ、水準器
- 総重量……………50kg

■セッティングの注意

ターンテーブルユニット、モーターユニットの設置には共振を受けにくい出来るだけ堅牢で質量の大きな置き台が必要です。モーターユニット、ターンテーブルユニットとも弾性系の脚をいっさい持たない構造ですから設置台自身が共振を受けやすい場合には音質上劣化の原因となります。

設置台には15mm厚以上のガラス板、大理石板など併用すると共振を受けにくいセッティングとなります。

■トーンアームの取り付け

使用するトーンアームによりマウントベースを選択して下さい。取り付け調整は、マウントベースには付属の説明書を参照して下さい。

■トーンアーム適用例

AX-1G

MICRO/MA-505X、505S、707X

ADC/LMF-1・LMF-2

EMT/929

ORTOFON/RS-212・RMG-212・SMG-212 II

AUDIO TECHNICA/AT-1005 II

AUDIO CRAFT/AC 300C.A.

DENON/DA-303・305・307・309・401

FR/FR54・24MK II・14

SAEC/WE-308N・308N・308SX・407/23

GRACE/G-545F・707・840FB・940・945S

TECHNICS/EPA-101S・L・121S・L・99

PIONEER/PA-1000

AX-2G

SME/3009S II・S III

AX-3G

MICRO/MA-505LX・505LS

EMT/997

ORTOFON/RF297・RMG309

AUDIO CRAFT/AC-300A・400A・C・400MK II

DENON/DA・302・304・308

GRACE/G-565F・860FB・960

SAEC/WE-308L

AX-4G

SME/3012

AX-5G

AUDIO TECHNICA/AT-1503 II・1503 III

FR/FR-64・64S

AX-6G

MICRO/MAX-282

LUSTER/GST801

AUDIO-CRAFT/AC-4000MC

AUDIO TECHNICA/AT-1501 II・1501 III

FR/FR-66S

SAEC/WE-506/30

VICTOR/UA-7082・7045

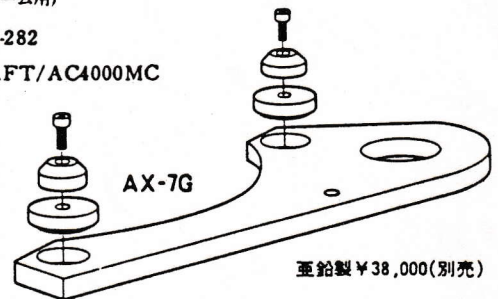
TECHNICS/EPA-100

GRACE/G660P

AX-7G(ロングアーム用)

MICRO/MAX-282

AUDIO CRAFT/AC4000MC



AX-8G

MICRO/MA505X II・S II・808X

SAEC/WE・308N・308SX・407/23

AUDIO CRAFT/AC300MK II・3000MC

AX-9G(ショートアーム用)

AX-10G(ご注文の際にご使用のトーンアームをご指定下さい。)

■アームレスト取付可能

各脚の上部はスクリュータイプのキャップ方式となっています。レストが一体構造となっていないトーンアーム用に、レストベースRX-1(別売 ¥500)が取り付け可能の設計です。



写真15

■規格

外形寸法.....310(W)×310(D)×140(H)mm

重量.....54kg(ターンテーブルユニットのみ)